

研究課題名	子どもの精神症状と親の気づきに関する研究
研究の意義・目的	わが国の子どもの自殺率は高く深刻な社会問題となっており、子どものメンタルヘルス対策が急がれます。子どものメンタルヘルスケアのためには、大人が子どもの精神症状にいち早く気づき、適切な支援や治療につなげることが重要ですが、子どもは精神症状を自ら打ち明けない傾向があり、重症化し行動が顕在して初めて大人が気づくことも珍しくありません。本研究は子どもの精神症状と親の気づきについて調査し、子どもの精神症状が気づかれない要因を明らかにすることを目的とします。本研究の結果は子どものメンタルヘルス向上に貢献するものです。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2028年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年4月から2027年3月までの間に大阪公立大学医学部附属病院神経精神科児童精神科専門外来を受診した、あるいは今後受診する11歳以上の患児(小・中学生)およびその保護者が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【診断名、年齢、性別、心理検査結果、外来アンケート】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院神経精神科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院神経精神科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学 研究責任者 平井香
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 神経精神医学 担当：平井香 電話：06-6645-2331(神経精神科外来)